

水道事業会計決算

(1) 水道事業会計決算額

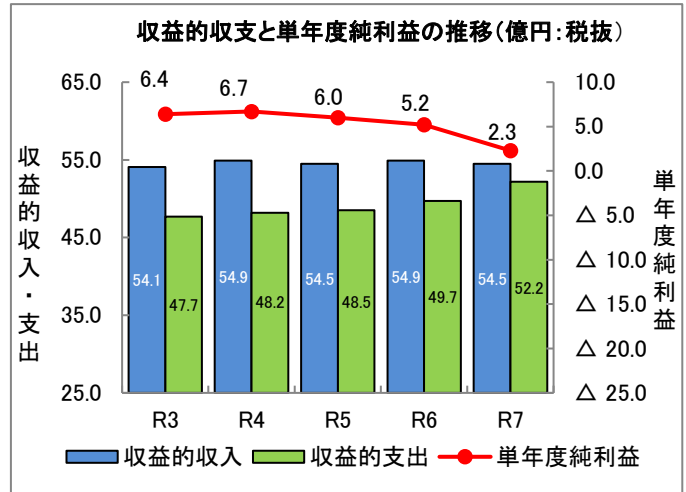
	収入決算額		支出決算額		差引額	(単位：億円)
収益的収支	54.5	－	52.2	=	2.3	【税抜】
資本的収支	8.1	－	22.3	=	△14.2	【税込】

(2) 収益的収支の状況

令和7年度の収益的収支の総収益は54.5億円で前年度に比べ0.4億円の減少となりました。これは、受取利息及び配当金が増加したものの、給水管の引込み時に納付する分担金や設計審査等の手数料が減少したことによるものです。

また、総費用は52.2億円で前年度に比べ2.5億円の増加となりました。これは、資産減耗費、業務費、配水及び給水費が増加したことによるものです。

この結果、当年度純利益2.3億円の黒字決算となりました。

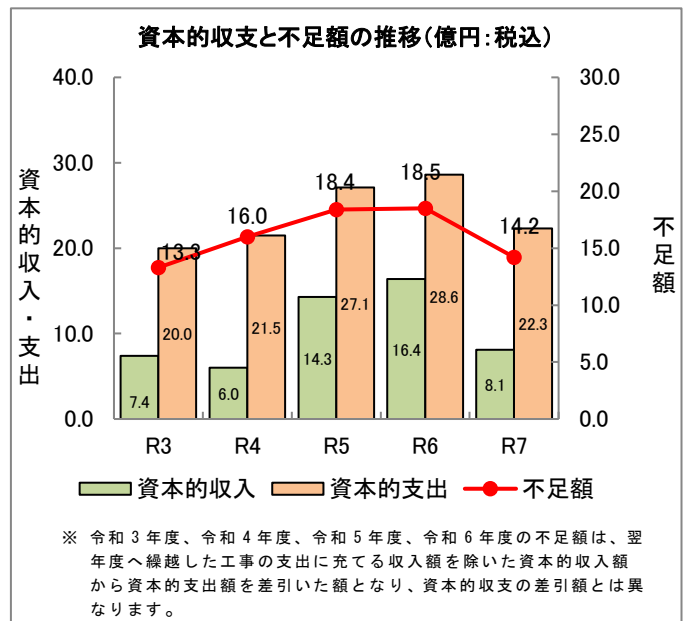


(3) 資本的収支の状況

令和7年度の資本的収支の収入は8.1億円で前年度に比べ8.4億円の減少となりました。これは、工事負担金が減少したことによるものです。

また、支出は22.3億円で6.4億円の減少となりました。これは、固定資産購入費が増加したものの、水道管や水道施設の更新等を行うための費用である設備改良費や拡張事業費、企業債償還金が減少したことによるものです。

この結果、令和7年度の資本的収入から資本的支出を差引いた資本的収支不足額14.2億円は、施設などを更新するために蓄えた損益勘定留保資金等で補てんしました。



(4) 企業債残高の状況

令和7年度は企業債5.3億円を借入れ、3.7億円を償還したことにより、企業債残高は36.8億円となりました。

償還額に対して借入額が多かったことから、企業債残高は前年度より増加しています。

